

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
(仮称)AP西舞鶴店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.1)

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>2.8</b>							
<b>Q1 建築物の環境品質</b>			<b>1.8</b>	<b>0.15</b>			<b>1.8</b>
<b>Q1.1 室内環境</b>							
<b>1 音環境</b>							
1.1 騒音			3.0	0.40			
1.2 遮音			1.0	0.40			
1 開口部遮音性能			1.0	1.00			
2 界壁遮音性能							
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音			1.0	0.20			
2 温熱環境			3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御			3.0	0.50			
1 室温			3.0	0.50			
2 外皮性能			3.0	0.17			
3 ゾーン別制御性			3.0	0.33			
2.2 湿度制御			3.0	0.20			
2.3 空調方式			3.0	0.30			
3 光・視環境			3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用			3.0	0.50			
1 昼光率							
2 方位別開口							
3 昼光利用設備			3.0	1.00			
3.2 グレア対策							
1 昼光制御							
3.3 照度							
3.4 照明制御			3.0	0.50			
4 空気質環境			3.7	0.25			3.7
4.1 発生源対策			4.0	0.50			
1 化学汚染物質			F☆☆☆☆を採用	4.0	1.00		
4.2 換気			3.0	0.30			
1 換気量			3.0	0.50			
2 自然換気性能							
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50			
4.3 運用管理			4.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視			3.0	0.50			
2 喫煙の制御			喫煙室を設け分煙化	5.0	0.50		
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>3.3</b>	<b>0.30</b>			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>			3.0	0.40			
1.1 機能性・使いやすさ							
1 広さ・収納性							
2 高度情報通信設備対応			3.0	1.00			
3 バリアフリー計画			2.6	0.30			
1.2 心理性・快適性							
1 広さ感・景観			売場の天高は直天のため3.6m以上	5.0	0.33		
2 リフレッシュスペース					2.0	0.33	
3 内装計画					1.0	0.33	
1.3 維持管理					4.5	0.30	
1 維持管理に配慮した設計			防汚性の高い建材を使用している	5.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保			清掃員控室を設置している	4.0	0.50		
2 耐用性・信頼性			2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震			3.0	0.50			
1 耐震性			3.0	0.80			
2 免震・制振性能			3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水管・汚水管:塩ビライニング鋼管→B、給湯管:銅管→D	5.0	0.20		
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	

2.4 信頼性		2.2	0.20			
1 空調・換気設備		1.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性		3.3	0.30			3.3
3.1 空間のゆとり		5.0	0.30			
1 階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.079	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		2.0	0.30			
3.3 設備の更新性		3.0	0.40			
1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
2 給排水管の更新性		3.0	0.20			
3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)		2.2	0.30			2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性		3.7	0.40			3.1
LR1 エネルギー		4.0	0.40			3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	外皮に断熱材を使用	4.0	0.20			4.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅0.90 住宅(専有部) -	4.0	0.50			4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	LED照明を採用	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)						
4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
4.1 モニタリング		3.0	0.50			
4.2 運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価						
4.1 モニタリング						
4.2 運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル		3.0	0.30			2.6
1 水資源保護		3.0	0.20			3.0
1.1 節水		3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60			2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1 消火剤						
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3 冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境		3.1	0.30			2.8
1 地球温暖化への配慮	設備の高効率化を図る	3.1	0.33			3.1
2 地域環境への配慮		2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25			
1 雨水排水負荷低減						
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3 交通負荷抑制		3.0	0.33			
4 廃棄物処理負荷抑制	室外にゴミ置場を設置	4.0	0.33			
3 周辺環境への配慮		2.7	0.33			2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1 騒音		3.0	0.50			
2 振動						
3 悪臭		3.0	0.50			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1 風害の抑制		3.0	0.70			
2 砂塵の抑制						
3 日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制		1.6	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70			
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			